



令和3年度(2021年度)学校教育目標

自ら学び、心豊かに、たくましく未来を切り拓く生徒の育成



校訓【自主・友愛・健康】

玉名市立天水中学校だより 第5号

始動～その先の未来へ～

「振り返り」の重要性

—生徒集会(5月21日)

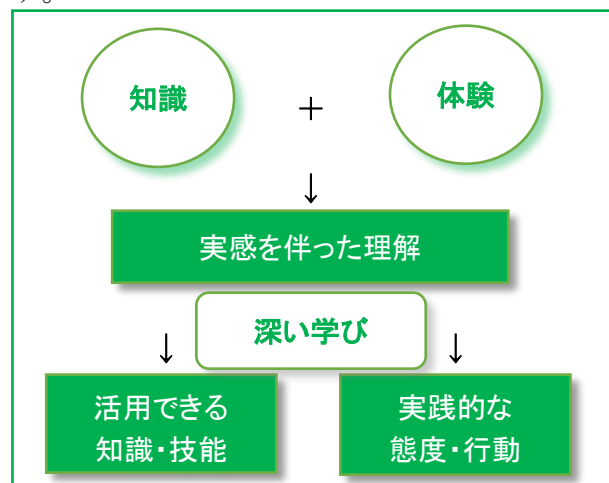
「対話的な学び」の視点から、安心して自分の考えを伝え合える生徒集会ができるのは、少人数の学校である本校の強みであると捉えています。

体育大会への取組では、当日の成功に向け練習や準備に励むプロセス(過程)を大切にする生徒さんの姿が多数見られました。そのプロセスを大切にしながら練習や準備を積み上げていく中で、生徒さん自身が自らの成長度を実感できたことだと思います。

先週21日の生徒集会は3年生の語る言葉に自信が増していく様子が見え、それが集大成された「振り返り」にすることができました。

団長、ダンスリーダー、ソーランリーダー、パネルリーダーといった「立場が人を成長させる」ことが実証されたと言えます。

さらに、「来年は今年を超えられるよう…」「自分が引っ張っていきたい…」という2年生の意欲が引き出されました。「その先の未来」を見据えた「始動」とも言えます。



このように、体育大会への取組を通して「思考力」「発信力」「協働力」の大切さを実感することができた生徒さんたちです。

左下の図のように(「集団宿泊活動の教育効果」国立青少年教育振興機構 令和3年3月発行を参照)、実感を伴った理解は「深い学び」にもつながります。「集団は協力することが必要」といった概念的な知識は、体験を通して獲得されていきます。

感染対策を講じながらの今回の体育大会には386人の来場者がありました(提出、記入いただいた名簿から)。このことは体育大会が年間の学校行事の中で最多の来校者があることを証明しています。また、体育大会の重要性が学校教育の不易の部分であることとしても再確認できました。

6月には1年生が集団宿泊活動に出かけます。体育大会で身に付けた「思考力」「発信力」「協働力」を単一学年として総合的に活用して実践する場です。この学校行事も特別活動の「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」の3つの視点から充実を図っていきたいと考えています。

「ありがとうございます」の笑顔にありがとう

朝、昇降口前から正門までの草取りをしていると、「おはようございます」とあいさつしてくれる本校の生徒さんたちです。今朝は、これにプラスして「草取りをしてもらい、ありがとうございます」という言葉と笑顔をもらいました。昨年度末の退任式で後期を振り返るスライドショーのBGMに使った絢香さんの「ありがとうの輪」の歌詞を思い出しました。「その笑顔が勇気になる」「この言葉ひとつで光がつながっていくよ」などです。

本校の教育スローガンは「笑顔で登校(出勤)、感謝で下校(退勤)」です。

◇本校ホームページも随時更新しています。天水中学校で検索